

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2028年4月26日まで（2018年4月27日設定）
運用方針	主としてわが国の株式に投資を行います。株式公開（IPO）から概ね5年以内の株式（上場予定を含みます。）への投資を基本とします。株式への投資にあたっては、IPO後の企業の成長性や収益性に着目し、株価上昇が期待される銘柄に投資します。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。
主要運用対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</div>

## 運用報告書（全体版）

## IPOリサーチ・オープン

愛称：リターン・エース

第6期（決算日：2024年4月26日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「IPOリサーチ・オープン」は、去る4月26日に第6期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

### 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
2期(2020年4月27日)	8,817		0	△15.7	95.4	—	3,341
3期(2021年4月26日)	17,458		0	98.0	96.2	—	1,758
4期(2022年4月26日)	13,663		0	△21.7	95.0	—	1,553
5期(2023年4月26日)	14,921		0	9.2	95.7	—	1,463
6期(2024年4月26日)	13,652		0	△8.5	95.2	—	995

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
				騰 落 率	率		
	(期 首)		円		%	%	%
	2023年	4月26日	14,921		—	95.7	—
	4月末		15,223		2.0	95.9	—
	5月末		15,149		1.5	95.7	—
	6月末		15,774		5.7	96.2	—
	7月末		15,523		4.0	95.3	—
	8月末		15,260		2.3	95.7	—
	9月末		14,637		△1.9	95.1	—
	10月末		13,572		△9.0	95.2	—
	11月末		14,609		△2.1	95.3	—
	12月末		14,898		△0.2	96.2	—
	2024年	1月末	15,088		1.1	95.2	—
	2月末		15,392		3.2	95.2	—
	3月末		15,267		2.3	95.9	—
	(期 末)						
	2024年	4月26日	13,652		△8.5	95.2	—

(注) 騰落率は期首比。

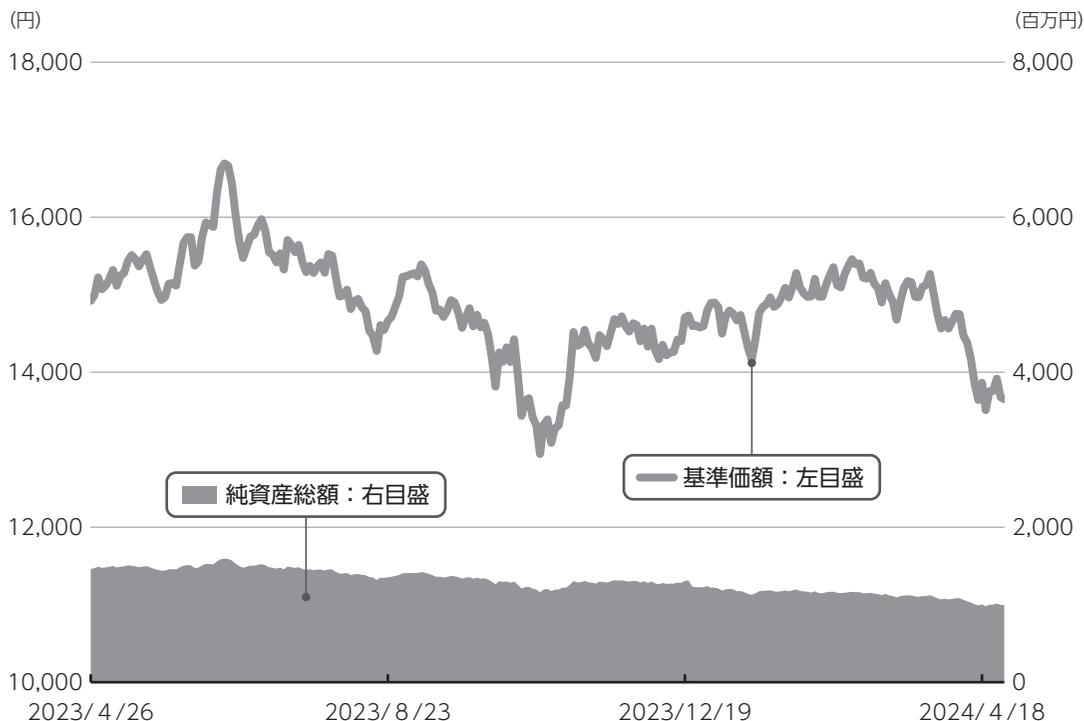
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第6期：2023年4月27日～2024年4月26日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第6期首	14,921円
第6期末	13,652円
既払分配金	0円
騰落率	-8.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ8.5%の下落となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

米国のインフレや金融政策を巡る過度な懸念が後退したことや、日本企業の企業価値向上に向けた動きへの期待などを背景に国内株式市況が上昇したことが、基準価額の一時的な上昇要因となりました。

### 下落要因

組み入れを行った個別銘柄の株価下落が基準価額の下落要因となりました。

### 銘柄要因

- 上位5銘柄・・・ライフドリンク カンパニー、M&A総研ホールディングス、S T Iフードホールディングス、プレミアグループ、FPパートナー
- 下位5銘柄・・・ギフトィ、INT LOOP、プラスアルファ・コンサルティング、ティーケーピー、AZ-COM丸和ホールディングス

第6期：2023年4月27日～2024年4月26日

## 投資環境について

### 国内株式市況

#### 国内株式市況は上昇しました。

期間の初めから2023年9月中旬にかけては、日銀の金融政策修正を受けて国内金利が上昇したことなどを背景に下落した局面があったものの、米国のインフレや金融政策を巡る過度な懸念が後退したことや、日本企業の企業価値向上に向けた動きへの期待などを背景に上昇基調で推移しました。

9月下旬から10月後半にかけては、米国の金融引き締め長期化による世界的な景気減速懸念が高まったことなどから下落しました。

その後11月前半から期間末にかけては、米国の追加利上げ懸念が後退したことや国内企業の堅調な決算、企業価値向上に向けた動きへの期待などを背景に上昇基調で推移しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

当ファンドでは株式公開（IPO）後の企業の成長性や収益性に着目し、株価上昇が期待される銘柄などを中心に選別投資を行いました。

組入銘柄数は概ね78～92銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相对比较等を勘案し、適宜銘柄入替を行いました。

当期間では、大手インターネット専門銀行の「住信SBIネット銀行」、電子楽器の製造

をおこなう「ローランド」など28銘柄を新規に組み入れました。一方、IP（知的財産）ディベロッパーとしてトレーディングカードゲームなどを手掛ける「ブシロード」、中古車販売などを手掛ける「ネクステージ」など33銘柄を全株売却しました。

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## ▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期
	2023年4月27日～2024年4月26日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	6,660

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

引き続き、株式公開（IPO）から概ね5年以内の株式（上場予定を含みます）への投資を基本とします。投資銘柄の選定に当たっては、IPO後の企業の成長性や収益性に着目し、経営陣への取材や継続的な調査等を通じて、経営戦略の実現性や事業環境等を分析します。さらに、株価水準や流動性等を考慮し、株価上昇が期待される銘柄に投資を行います。米国経済は堅調さを維持していますが、今後のインフレリスクやこれまで積極的に利上げを行ってきた影響、およびそれらに対応する金融政策の動向に注目しています。一方、国内に関しては賃金と物価の好循環などを確認し、物価安定の目標が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況になったとの判断から日銀がマイナス金利政策を解除しましたが、引き続き個人消費や賃金に加えて、為替相場の動向にも注目しています。また、東京証券取引所が企業価値向上に向け資本コス

トや資本収益性を十分に意識した経営を行うよう企業に求めたことに対しては、企業側の取り組みが徐々に進展しつつあり、今後もポジティブな変化の継続が期待できると考えています。引き続き不透明感が強い状況が続いていますが、こうした局面においては本来の企業価値から大きく乖離したと思われる株価形成がなされることも多く、徹底したリサーチにより大きな超過収益をもたらす企業を発掘する有望な機会であると捉えています。今後も多くのIPOによる上場が見込まれます。このようなIPOの企業の中から中長期的に業績成長が見込まれる企業も出てくるものと想定され、IPOに対する注目が高まると思われます。株式公開した企業の中には独自のビジネスモデルなどによりマクロの景況感など外部環境に左右されにくく持続的な成長が期待できる企業も存在しており、そのような企業に着目して投資を行う方針です。

2023年4月27日～2024年4月26日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	268	1.804	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(131)	(0.880)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(131)	(0.880)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(7)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.041	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	(6)	(0.041)	
(c) その他費用	0	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	274	1.848	

期中の平均基準価額は、14,855円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

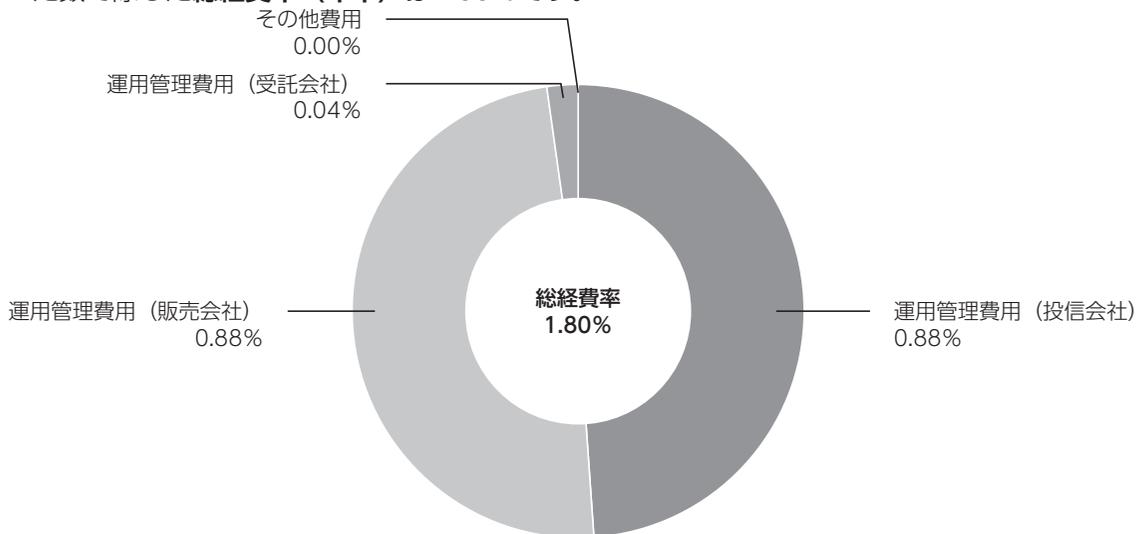
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.80%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年4月27日～2024年4月26日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	上場	千株	千円	千株	千円
内		106	209,047	335	578,964
		(16)	( - )		

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2023年4月27日～2024年4月26日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	788,011千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,264,114千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.62

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年4月27日～2024年4月26日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 8	% 3.8		百万円 58	% 10.0	

## 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株式	百万円 0.51

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	525千円
うち利害関係人への支払額 (B)	50千円
(B) / (A)	9.5%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2024年4月26日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
<b>食料品 (6.9%)</b>				
ライフドリンク カンパニー	17	6.2	30,907	
S T Iフードホールディングス	10	7.7	32,648	
サンクゼール	—	1	2,080	
<b>化学 (2.2%)</b>				
KHネオケム	7	7	16,611	
新日本製薬	4.5	2.5	4,210	
<b>医薬品 (—%)</b>				
セルソース	6	—	—	
坪田ラボ	1	—	—	
<b>金属製品 (2.7%)</b>				
テクノフレックス	28	22	25,938	
<b>機械 (1.8%)</b>				
イワキポンプ	2	2	4,952	
フリュー	19	10	12,160	
<b>電気機器 (0.8%)</b>				
マクセル	5	5	7,540	
<b>輸送用機器 (0.1%)</b>				
A e r o E d g e	—	0.4	1,204	
<b>精密機器 (0.6%)</b>				
メニコン	5	3.5	5,314	
<b>その他製品 (2.4%)</b>				
ブシロード	53	—	—	
ローランド	—	5.4	23,058	
<b>陸運業 (1.6%)</b>				
A Z - C O M丸和ホールディングス	13	13	15,574	
九州旅客鉄道	3	—	—	
S Gホールディングス	6	—	—	
<b>情報・通信業 (40.5%)</b>				
V R A I N S o l u t i o n	—	0.2	817	
L i s B	—	0.8	944	
ハッチ・ワーク	—	0.2	514	
カウリス	—	1	2,882	
マークラインズ	3	—	—	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
デジタル・インフォメーション・テクノロジー	3	—	—	
ラクス	6.2	4	6,266	
PKSHA Technology	1.5	1.5	6,652	
マネーフォワード	10	6.5	36,192	
GMOフィナンシャルゲート	1	1	7,130	
Sun Asterisk	8	11	10,109	
プラスアルファ・コンサルティング	15.5	11.5	22,804	
ENECHANGE	9	—	—	
Appier Group	29	22	28,864	
ビジョナル	5	4	29,280	
エクサウィザーズ	2.3	—	—	
ワンキャリア	4.5	5.5	19,497	
ラクスル	23.8	5.3	4,796	
メルカリ	5.5	5.5	9,787	
スマレジ	15	9.5	21,033	
ウイングアーク1st	—	5.3	13,456	
Sansan	34	34	50,048	
ギフトィ	17	18	21,456	
HENNGE	8	—	—	
フリー	0.7	—	—	
ベース	2	2	6,890	
JMDC	5.5	3.5	11,445	
ビザスク	6	—	—	
ドリーム・アーツ	—	0.2	400	
AnyMind Group	—	22	22,726	
ANYCOLOR	3.6	3.3	7,210	
eWeLL	0.6	1.2	1,646	
ポーターズ	0.5	—	—	
FIXER	0.3	—	—	
pluszero	1	3	6,540	
tripla	0.4	0.4	536	
オープンワーク	0.5	2	1,252	
monoAI technology	1.5	—	—	
カバー	0.6	0.6	1,048	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
モンスタースポールホールディングス	1	—	—	—
R i d g e - i	0.5	—	—	—
ABE J A	—	1.1	3,465	—
グリッド	—	0.5	1,472	—
エコナビスタ	—	3.5	6,937	—
AV I L E N	—	0.3	616	—
くすりの窓口	—	1.5	2,116	—
Q P S 研究所	—	2.5	8,750	—
ナイル	—	1.5	1,437	—
ヒューマンテクノロジーズ	—	0.8	867	—
ビジョン	15	5.5	6,253	—
<b>卸売業 (1.4%)</b>				
フーディゾン	0.7	0.7	989	—
BuySell Technologies	4	4.5	12,415	—
<b>小売業 (3.2%)</b>				
トライアルホールディングス	—	0.3	812	—
ネクステージ	7	—	—	—
FOOD & LIFE COMPANIE	7	7	21,196	—
魅力屋	—	0.4	1,099	—
ハルメクホールディングス	0.5	—	—	—
HYUGA PRIMARY CARE	4.4	4.4	7,524	—
<b>銀行業 (4.9%)</b>				
楽天銀行	—	6	18,870	—
住信SBIネット銀行	—	11.4	27,063	—
<b>保険業 (2.7%)</b>				
FPパートナー	2	5	25,450	—
<b>その他金融業 (4.8%)</b>				
SBIアルビ	0.4	0.4	339	—
プレミアグループ	32	23	44,712	—
<b>不動産業 (5.3%)</b>				
SREホールディングス	5.5	5.5	21,477	—
オープンハウスグループ	3	—	—	—
ティーケーピー	14	4	5,716	—
GA technologies	2.5	2.5	3,202	—
property technologie	0.4	—	—	—

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
エリツホールディングス	—	0.6	0.6	1,098
カチタス	10	10	10	18,390
<b>サービス業 (18.1%)</b>				
アズパートナーズ	—	0.3	0.3	551
早稲田学習研究会	—	1.3	1.3	1,387
テクノプロ・ホールディングス	9	9	9	25,681
Keeper 技研	6	2.5	2.5	10,962
シンメンテホールディングス	21	18	18	23,436
ベルシステム24ホールディングス	13.5	7.5	7.5	11,692
鎌倉新書	7.5	—	—	—
エアトリ	4.5	2	2	2,858
アトラエ	1.5	—	—	—
ソラスト	18	—	—	—
ペイカレント・コンサルティング	7	0.9	0.9	3,001
日総工業	5	—	—	—
アンビスホールディングス	16.5	3.5	3.5	7,696
デコルテ・ホールディングス	3	—	—	—
アйдマ・ホールディングス	2	—	—	—
ナレルグループ	—	0.3	0.3	784
GENDA	—	5	5	15,550
フルハシEPO	23	18	18	19,476
マイクロ波化学	1.5	—	—	—
サンウェルズ	2.7	2.7	2.7	6,137
プロジェクトホールディングス	1	—	—	—
揚羽	—	0.6	0.6	546
トリドリ	0.2	—	—	—
アクシスコンサルティング	3.2	—	—	—
コソルポート	0.3	0.3	0.3	514
M&A総研ホールディングス	3.1	7.2	7.2	35,316
I N T L O O P	3	2	2	5,410
Atlas Technologies	0.7	—	—	—
G L O E	0.6	—	—	—
合 計	株 数 ・ 金 額	667	454	947,694
	銘柄数 < 比率 >	89	84	< 95.2% >

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2024年4月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 947,694	% 93.7
コール・ローン等、その他	63,586	6.3
投資信託財産総額	1,011,280	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年4月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,011,280,126
コール・ローン等	59,711,172
株式(評価額)	947,694,800
未収入金	665,488
未収配当金	3,208,560
未収利息	106
(B) 負債	15,637,394
未払金	4,707,488
未払解約金	259,603
未払信託報酬	10,653,472
その他未払費用	16,831
(C) 純資産総額(A-B)	995,642,732
元本	729,313,887
次期繰越損益金	266,328,845
(D) 受益権総口数	729,313,887口
1万円当たり基準価額(C/D)	13,652円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 980,895,494円  
 期中追加設定元本額 38,496,715円  
 期中一部解約元本額 290,078,322円  
 また、1口当たり純資産額は、期末13,652円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2023年4月27日～ 2024年4月26日
費用控除後の配当等収益額	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	281,237,862円
分配準備積立金額	204,543,352円
当ファンドの分配対象収益額	485,781,214円
1万円当たり収益分配対象額	6,660円
1万円当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

## ○損益の状況 (2023年4月27日～2024年4月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	11,822,043
受取配当金	11,841,360
受取利息	4,527
その他収益金	175
支払利息	△ 24,019
(B) 有価証券売買損益	△ 81,239,554
売買益	141,308,229
売買損	△222,547,783
(C) 信託報酬等	△ 23,488,956
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 92,906,467
(E) 前期繰越損益金	4,560,742
(F) 追加信託差損益金	354,674,570
(配当等相当額)	( 281,237,862)
(売買損益相当額)	( 73,436,708)
(G) 計(D+E+F)	266,328,845
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	266,328,845
追加信託差損益金	354,674,570
(配当等相当額)	( 281,237,862)
(売買損益相当額)	( 73,436,708)
分配準備積立金	204,543,352
繰越損益金	△292,889,077

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
(2023年10月1日)